

新型コロナワクチンの疑問 私は接種しても大丈夫？



新型コロナワクチンの予防接種が始まりました。ワクチンを接種することにより、新型コロナウイルス感染症による発熱や咳などの発症予防の効果や、発症予防による医療機関の負担軽減の手段にもなります。組合員さんの中には接種しても大丈夫か疑問をもたれる方もいるのではないのでしょうか。今回は代表的な疑問にお答えします。



ワクチンを接種するのに注意が必要なのはどのような人ですか？

1. 過去に免疫が正常に働かない病気になった方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
 2. 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などがある方
 3. 過去に予防接種を受けて、2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
 4. 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ワクチンを接種してもよいか、かかりつけ医とご相談ください。



薬を飲んでいる人は接種できますか？

薬を飲んでいるために接種できないことはありません。基礎疾患のある方、免疫が正常に働かない病気の方、ステロイド剤や抗がん剤を使用中の方は、かかりつけ医にご相談ください。新型コロナウイルスに感染した場合には重症化する危険性が高いため、接種してはいけない理由がなければ接種が勧められています。



持病の有無によって、ワクチンの効果や副反応に違いがありますか？

日本で承認されたファイザー社の新型コロナワクチンは、高血圧、糖尿病などの基礎疾患をもっている方にも高い発症予防効果があることが分かっています。アナフィラキシー（急性のアレルギー反応）以外の副反応については、治験において基礎疾患の有無による頻度の違いは報告されていません。



妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、接種することはできますか？

接種することはできます。妊婦、妊娠の可能性のある女性には、海外の経験から特段の懸念は認められていませんが、データが限られているので主治医とご相談ください。授乳中の方も懸念は認められていません。



アレルギーのある人は副反応が起きやすいですか？

アメリカでは他のワクチンや食べ物に重いアレルギーのある方も、接種が可能としています。しかし、新型コロナワクチンに含まれる成分に重いアレルギー反応を起こしたことがある方への接種は推奨していません。

ワクチンや注射でアレルギー反応を起こしたことがある方は、接種後30分間アレルギー反応の有無を観察します。



ワクチン接種後、生活で注意することはありますか？

接種部位の痛みが出たり、倦怠感、発熱、頭痛や関節痛が生じたりすることがあります。接種当日、翌日に無理をしないよう予定を立てておきましょう。

詳しく知りたい、他のことが心配な場合は...

新型コロナワクチンコールセンター

電話番号（フリーダイヤル）

0120-761770



対応言語

日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・
タイ語・ベトナム語